



水産情報速報版

H24. 1. 6. No1294
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/



謹賀新年 今年も宜しく願い申し上げます。

年頭のご挨拶

静岡県漁業協同組合連合会 代表理事会長 荒川邦夫

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、県下漁協の組合員並びにJFグループの皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、多くの漁村を直撃し人命・施設に未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」が発生し、また、例外なき輸入関税ゼロを目指し平成の開国を迫る「TPP加盟」問題が大きな影響と議論を巻き起こしました。

特に、東日本大震災には、県下漁業関係の皆様義援金を呼び掛けた結果、総額5,000万円余の浄財が集まり、静岡県漁業関係者の熱い思いを示して頂き、誠に有り難く深く感謝致します。約10ヶ月を経過した被災地の復興は、「人々の絆」により、漁港や後背地の関連施設などハード面の復旧や、漁業生産活動の新たな再生を目指すところとなっています。

これに関連し、中電・浜岡原子力発電所の全炉が停止され、本会の温水利用委託事業運営への影響が懸念されましたが、県を中心に国と中電との調整がなされた結果、25年までの3年間で10億円の枠が閣議決定され、そのうち県議会9月補正予算においてポンプや加温用ボイラーの設置について、国庫を財源とした2億3,300万円が計上されるなど、当面は種苗生産活動への支障が最小限にとどまることとなりました。現在、温水利用研究センターが沿岸漁業の振興発展に果たす役割は非常に重要なものとなっているため、引き続き同センターの安定的な運営が図られるよう努力致します。

また、昨年12月の燃油税制により、軽油引取税等の免税措置が更に3年間延長されました。恒久化は叶いませんでしたが、会員の協力のもと地域の議会を通じた中央への働きかけを頂いた成果だと思っています。

また、漁業所得補償対策は、資源や漁場管理の運用と円滑な履行確認の実践にステージを移しており、今後も関係組合との調整が行われます。さらに、燃油の高騰に備えるセーフティネット事業では、昨年には3回に亘り補てんの発動があり、引き続き加入漁業者への支払金の配布に遺漏なきよう今後も手続きを支援してまいります。

本会の最重要課題として取り組んでいる県下4地区漁協合併構想に基づく組織再編は、その構想を堅持しつつ合併意識の醸成を図りながら、合意の得られた地区から進めていくことを確認しています。加えて、合併漁協の事後指導や要改善漁協の自立に向けた進捗状況の管理も含めた事業活動のほか、榛原地区4漁協における合併への取り組みをサポートしてまいります。新年を迎え気持ちを新たに、県水産団体が一丸となり、事業改革に取り込む漁協系統組織の再編強化に一層頑張らなくてはならないと考えています。

年頭に当たり、所感の一端を申しあげましたが、何と申しましても会員漁協や組合員の皆

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

様方、更には県域の各水産団体組織の一層の支援・協力が無ければ、物事が前に進みません。漁協系統の発展のために、皆さんの更なるご理解ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお、本年は国連が定めた国際協同組今年となります。本県でもJA・森林組合や生協と連携し、様々なイベントを企画・開催する予定です。その中において、JFという組織の価値や目的を積極的に情報発信し、漁業や漁業地区への理解促進に努めてまいります。

結びに、本県漁業並びにJFグループの益々の発展と皆様方のご健勝を祈念して、新年の挨拶といたします。

1. 県知事賞に沼津市漁協青壮年部連絡協議会 ―第17回県青年・女性漁業者交流大会―

県並びに県漁連は、12月9日あざれあにおいて、県下の漁協青壮年・女性漁業者のほか、水産関係団体代表者等 約110名の参加を得て、第17回静岡県青年・女性漁業者交流大会を開催しました。大会では、主催者挨拶の後、以下の各グループにより発表が行われました。

① 南伊豆の海と共に生きる ～イセエビの資源管理を通して～

伊豆漁協南伊豆支所青年部 竹内照裕 氏

② 岬っ子おさかな大好き大作戦 ～子供に伝えよう 御前崎の漁業と魚～

御前崎漁協女性部 下村千草 氏

③ マダイの群よ ふたたび! ～魚が棲みよい海をめざして～

沼津市漁協青壮年部連絡協議会 大木高幸 氏

発表後の審査が行われている間、県立焼津水産高等学校3年の加藤昌吾さん・遠藤遼亮さん・鈴木秀汰さんから「BDF製作 ―廃油を精製しディーゼルエンジンを動かしてみよう―」と題した研究発表が披露されたほか、県水産技術研究所の鈴木主査からは「関東・東海海況速報の紹介について」と題して情報提供がされました。

審査員7名（審査委員長：鈴木雄策県水技研所長）による厳正な審査の結果、「日頃からの観察からマダイが滞留しないという問題を発見し、対策として海藻移植や粗朶礁の設置に取り組んだ結果、4年ぶりにマダイが滞留したという成果が出ている」とその積極的な取り組みが評価された沼津市漁協青壮年部連絡協議会が最優秀賞（県知事賞）に選ばれました。

なお、沼津市漁協青壮年部連絡協議会及び御前崎漁協女性部の発表内容は、3月1～2日東京都内で開催される全国大会へ出場するに相応しいとして県代表に推薦されました。

2. 「フォーマル パールフェア」開催のお知らせ

―県漁連資材課―

県漁連資材課では、全漁連及び愛媛県漁連の協力により、下記の3日間、静岡市葵区の静岡中央ビル（県水産会館）において、「フォーマルパールフェア」を開催します。会場では、日本有数の真珠生産地である愛媛県宇和島産の選りすぐった真珠製品の展示・販売を行いますので、皆様、是非ともお誘い合わせのうえ、多数ご来場下さるようご案内します。

◇開催日 平成24年1月27日（金）～1月29日（日）

◇開催時間 午前10時～午後7時（最終日は午後5時）

◇問い合わせ 県漁連 資材課 TEL：054-252-5154

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう